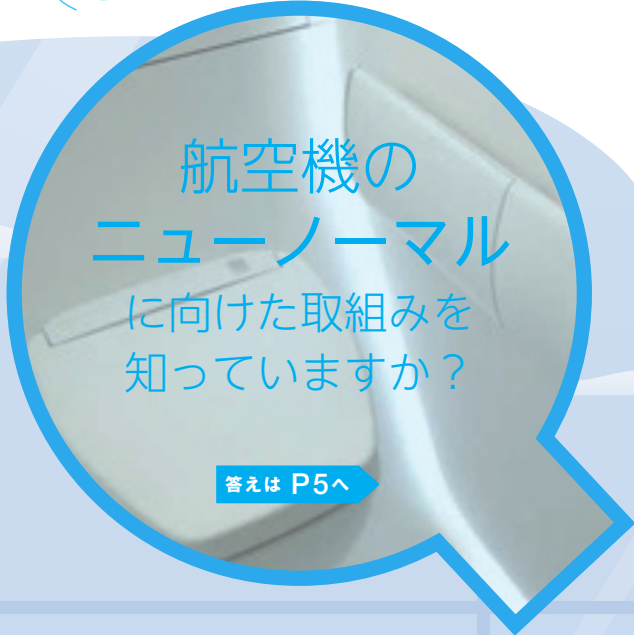




ジャムコを支える、
隠れた「技術」



航空機の
ニューノーマル
に向けた取組みを
知っていますか？

答えは P5へ

株主のみなさまへ

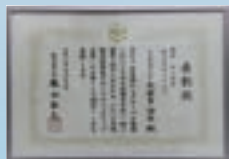
第81期

2020年4月1日
→ 2020年9月30日

中間報告書

2020年度中間期ダイジェスト

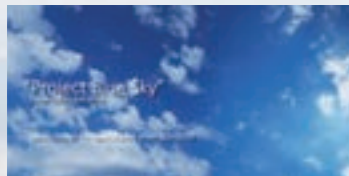
上半期トピックス



2020年6月30日
経済産業省認定
グローバルニッチトップ企業に選定

詳細は P.8 トピックス

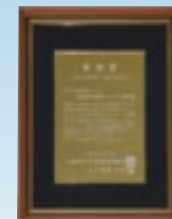
2020年6月25日
第80回定時株主総会を開催



2020年6月24日
Project Blue Skyを始動

詳細は P.5 特集

2020年7月1日
(株)新潟ジャムコが
日本航空技術協会より
奨励賞を受賞



2020年9月1日
創立65周年

ジャムコ用語集

株式会社ジャムコの航空業界用語集をご覧ください。

ラバトリー

航空機内の化粧室のこと。多くの乗客と共に過ごす機内では、ラバトリーは機内で唯一のプライベートルームと言えます。

※ジャムコのラバトリーは世界シェアおよそ50%(中大型機：当社調べ)



ハニカムパネル

航空機内装品において、軽量化の要となる素材「ハニカムコア」をガラス繊維やカーボン繊維の薄い板で挟み込んで加工した「ハニカムパネル」が内装品の壁材等に使用されています。





代表取締役社長

大喜多治年

ごあいさつ

新型コロナウイルス感染症に罹患された方々、及びそのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。

又、新型コロナウイルス感染症への対策に日々ご尽力くださっている医療従事者を始めとする関係者の皆さまに、深く御礼申し上げます。

第2四半期の業績について

新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の影響により各国の渡航制限が続いており、航空旅客需要は激減しました。航空輸送業界ではかつてない規模の減便や運休などにより経営環境は大きく悪化しており、又、航空機メーカーにおいてもボーイング、エアバス共に大幅な減産を余儀なくされています。

当社グループにおいても、こうした影響

を大きく受けた結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高25,860百万円(前年同四半期比14,694百万円減)、営業損失4,591百万円(前年同四半期は、営業利益784百万円)、経常損失5,409百万円(前年同四半期は、経常利益384百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失4,294百万円(前年同四半期は、親会社株主に帰属する四半期純利益73百万円)となりました。

通期の見通し

2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せないことから、売上高584億円、営業損失102億円、経常損失111億円、親会社株主に帰属する当期純損失88億円と、非常に厳しい見通しをしております。なお、この見通しの想定為替レートは、105円/米ドルとしています。

経営理念

士 魂 商 才

技術のジャムコは、士魂の気概をもって

- 一、夢の実現にむけて挑戦しつづけます。
- 一、お客様の喜びと社員の幸せを求めていきます。
- 一、自然との共生をはかり、豊かな社会づくりに貢献します。

又、配当につきましては、これまで連結配当性向20%から30%を目安に配当額を決定しておりましたが、今期の配当につきましては、誠に恐縮ながら中間配当を含めて無配とさせていただきますたく存じます。

株主の皆さまに深くお詫び申し上げますと共に、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

今後に向けた取組み

現在のところ新型コロナウイルス感染症の拡大で大きな影響を受けている航空旅客需要ですが、国際航空輸送協会 (IATA) は、2024年頃には2019年レベルに回復するものと予測しております。それまでの間、不確実性はあるものの徐々に需要は回復し、2024年以降については堅調な伸びが期待されています。

当社グループでは現在、全社レベルで業務プロセスの改革、生産体制の効率化を推進し、品質と収益力の向上を目指すと共に、人員削減等による経費削減、投資抑制を図り、拠点整理にも取り組んでおります。又、Project Blue Skyとして既に公表しておりますが、航空機をご利用されるお

客様に安心してご使用いただけるよう、手を触れずに開閉できるラバトリー用ドアハンドル等、感染症対策に向けた製品開発も進めております。

このようなコロナ禍への緊急対応に加えて、アフターコロナとして、市場の回復に備えた対応も既に開始しております。

航空機の運航再開に伴い、需要が回復した際の製造能力に不足が生じないよう、生産拠点の整理と並行して、拠点によっては規模拡大の準備を進めてまいります。又、今後、相対的に市場が成長すると見込まれている単通路機市場に向けた製品につきましても、その量産体制を整えるなどの取組みを進めてまいります。

ESGへの取組みに関しては、すでに実績が報告されている航空機を利用した大気観測プロジェクト「CONTRAIL」(国立環境研究所、気象庁、日本航空と連携した全世界規模のCO₂観測プロジェクト)に加え、航空機によるCO₂排出量削減に関しても、当社では軽量ハニカムパネルの製品化や熱可塑性炭素繊維複合材の製造技術などの新たな開発を推進し、航空機の軽量化によりCO₂排出量削減に貢献してまいります。こ

れらの複合材製品は、航空機用途以外への展開も視野に入れることで、事業構造の変革も目指してまいります。航空業界にとどまらず、新しい事業領域への可能性も秘めたこれらESGへの取組みは、逆境のなかでも着実に継続してまいりたいと考えております。

現在の航空業界は、過去に例をみない過酷な経営環境にあります。しかし、この逆境を乗り越えるための緊急対策の断行、中期対策の推進は、従来以上の瞬発力、実行力そして柔軟性を当社グループにもたすとも考えております。一日も早い業績回復はもとより、航空旅客需要が回復するとされている2024年頃には、業務プロセス改革による効率向上や航空機シート事業の収益性向上などにより、筋肉質な経営へと改革し、中期ビジョンで掲げる連結経常利益率7%の達成とその更なる伸長を目指してまいります。

株主の皆さまにはご理解と共に、一層のご支援を賜りますよう、何卒宜しく願い申し上げます。

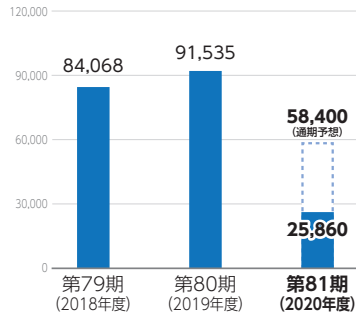
財務ハイライト

詳細な決算情報は、右記のQRコードから当社ホームページにアクセスいただき、「IR資料」からご覧いただけます。

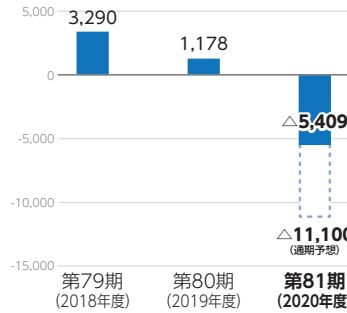
<https://www.jamco.co.jp/ja/ir/materials.html>



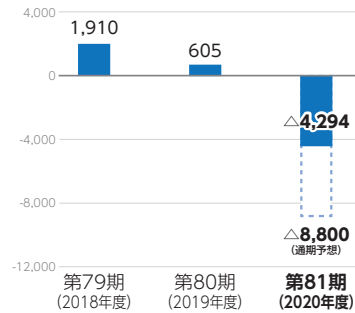
売上高 (単位：百万円)



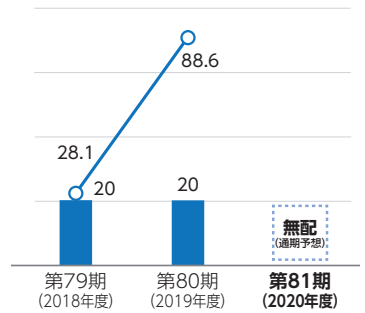
経常利益 (単位：百万円)



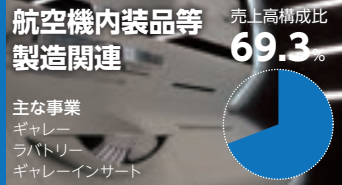
親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益 (単位：百万円)



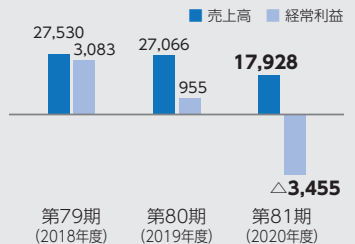
1株当たりの配当金 (単位：円)
／配当性向 (単位：%)



事業別営業概況



第2四半期売上高・経常利益 (単位：百万円)



売上高

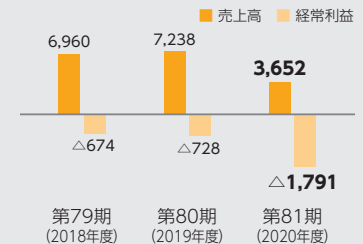
- 航空機メーカーの減産や生産スケジュールの変更により、ギャレー及びラバトリーの出荷が減少
- エアライン向けの客室改修用キットやスペアパーツ販売が減少

経常損失

- 売上高減少などにより経常損失



第2四半期売上高・経常利益 (単位：百万円)



売上高

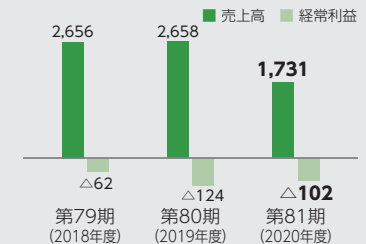
- 顧客による納期変更や一部キャンセルが発生

経常損失

- 特注品の工事損失引当金増加などによる原価の増加



第2四半期売上高・経常利益 (単位：百万円)



売上高

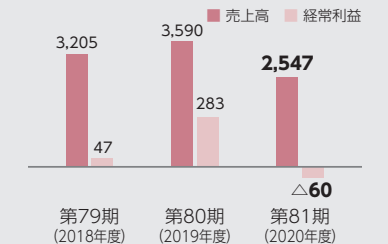
- 熱交換器等装備品の出荷は堅調に推移
- 炭素繊維構造部材や航空機エンジン部品の出荷が減少

経常損失

- 売上高減少などにより経常損失



第2四半期売上高・経常利益 (単位：百万円)



売上高

- エアラインからのホイール、ブレーキなどの受注が減少

経常損失

- 売上高減少などにより経常損失

「Project Blue Sky」

— 航空業界・ニューノーマルへのJAMCOからの提案 —

Project Blue Sky

新型コロナウイルス感染症拡大による航空業界への影響を踏まえ、ジャムコグループでは、お客様が航空機に安心して搭乗できるように、清潔で衛生的なキャビン作りのための製品の開発に取り組んでいます。製品を航空機に搭載するには、多くの厳しい規制や要求を満足しなければなりません。ジャムコグループだからこそできる航空業界への種々の提案、ビジネスアイデア、製品・サービスを具体化してまいります。

Touchless Faucet

赤外線センサーを利用し、水栓に触れることなく手をかざすだけで手洗いが可能です。



1 | 航空機ラバトリー向け製品

Hands-free Toilet Seat Lid/Seat

足踏みペダルにより、手を使わずに便座ふた／便座を開閉する機構を検討しています。



Hands-free Waste Flap

足踏みペダルにより、手を使わずに、ゴミ箱のふたを開閉することができます。既に搭載実績があり、さまざまな機体のラバトリーへの適用が可能です。



Electrostatic Disinfection

静電気を帯びた消毒液の噴射によりラバトリー内の隅々にわたる消毒作業を自動化できます。一度に広範囲に効率的に作用させ消毒液の節約を可能とすると共に、通常の拭き上げ作業に比べ作業時間を大幅に短縮する効果が見込まれます。



始動

詳細な情報は、右記QRコードからご覧いただけます。

<https://www.jamco.co.jp/ja/news/news/news2333920981613714440.html>



2 | 航空機シート向け製品

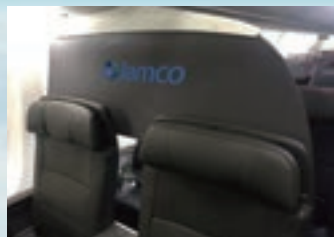
Clean Cabin Divider

乗客の安心感の向上と直接的な飛沫を防止するクリアタイプの間仕切り (Divider) です。透明な素材を用いることにより視認性と解放感を確保すると共に、安価で軽量化を考慮したヘッダー設計と、シートリクライニングに影響無い取り付けが可能です。



Soft Cabin Divider

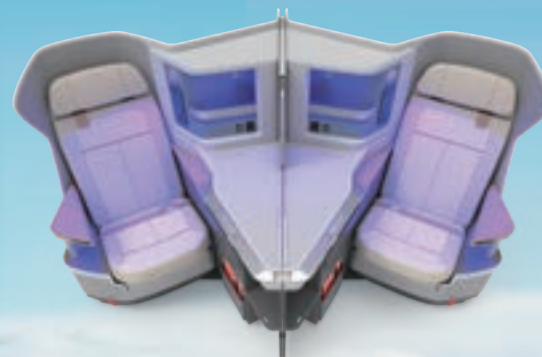
高級感のあるレザータイプの間仕切り (Divider) です。



3 | UV照射

UV Disinfection

紫外線 (UV) 照射はウイルス及び菌のDNA構造を破壊し、ウイルスを不活化、バクテリアを殺菌 (Disinfection) します。人体への安全性と照射部位を考慮し、UVの各波長を組み合わせた除菌方法についてラバトリーはもとよりギャレー及びシートへの適用を検討しています。



世界初となる
手を触れずに出られるラバトリー
も提案しています！

P.7

ジャムコを支える、隠れた「技術」

ニューノーマルを見据え、 「手を触れずに出られるラバトリー」

詳細な情報は、右記QRコードから
ご覧いただけます。



<https://www.jamco.co.jp/ja/news/news/news2764695980665488611.html>

お客様に安心してラバトリーをご利用いただけるよう、
世界で初めてとなる「手を触れずに出られるラバトリー」を各エアライン向けに提案しています。
腕や肘を使用して簡単にドアを開けることができ、手洗い後の清潔な状態で座席まで戻ることを可能とする
ハンズフリーソリューションです。



ハンズフリー ドア ロックノブ



ハンズフリー ドア ハンドル



指先で開閉する以外の選択肢を乗客に与え、腕や肘でもドアロック・ドアハンドルを操作することができます。
引っかかりが大きいいため動かしやすく開けやすくなります。

開発者インタビュー

開発で最も難しかったことは、ドアハンドルの形状を元々の形状と異なる形状にしたときに、利用者に以前と変わらず直感的にドアの開け方やロックの仕方を認識されつつも、手ではなく腕や肘を使うことでドアを開けることができると感じてもらえる形状を形成することでした。

最適な形状を作り上げるために、試作品を実際のラバトリーに取り付け、計約130名の従業員によるモニター調査を実施しました。調査では、ラバトリー内を撮影して被験者がドアハンドルを開ける所作等を確認し、評価しました。当初の案ではハンドルはシンプルな平らな板でしたが、平らな面は押したくなる印象を人に与えるため、押してみてもドアが開かなかったときに開け方が分からず困ってしまう状況に陥る被験者が多くいることが分かりました。また、感染症予防を意識したドアハンドルの開閉方法については人それぞれ異なり、開発チームが望んだように腕や肘を使って出てくる方もいれば、指先や、指1本を使ってドアを開けて出てくる方も多くいました。この調査から、個々人が望むドアの開け方を実現する、つまりはドアの開け方の選択肢を増やすことが最も重要だということがわかりました。

そのような評価結果を受けて、最終的にドアハンドルは滑らかな緩い曲線を描くことで腕や肘を掛けられることを意識させると共に、積極的に手で握みにいかに指を掛けられる程度の孔(あな)を開けた形状となりました。

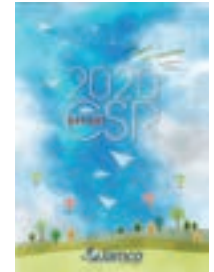
更に、急に機体が揺れたときにハンドルで全体重を支えたとしても壊れない強度を航空機内の耐火要求に適合する素材で実現し、万が一、ハンドルが壊れてしまった場合でも使用者が安全にラバトリーの外に出られる仕組みを盛り込んでいます。

2020年 CSRレポートを公表

ジャムコグループのCSR(企業の社会的責任)に対する考え方や、課題への取組みなどを紹介することで、各ステークホルダーとのコミュニケーションを図り、CSRへの取組みの更なる向上を目的として製作、開示しています。

詳しくは当社ホームページのCSRのページをご参照ください。

[▶ https://www.jamco.co.jp/ja/csr.html](https://www.jamco.co.jp/ja/csr.html)



グローバルニッチ トップ企業選定

2020年6月30日、当社は2020年版「グローバルニッチトップ企業100選」に選定されました。「グローバルニッチトップ企業100選」は、世界市場のニッチ分野で勝ち抜いている企業や、国際情勢の変化の中でサプライチェーン上の重要性を増している部素材等の事業を有する優良な企業を経済産業省が選定するという取組みです。この取組みは、経済産業省が認定と顕彰を通じて、対象企業の知名度向上や海外展開を支援すると共に、新たにグローバルニッチトップを目指す企業における経営上の羅針盤として活用されることを目的に実施されています。

当社は、この度の選定を契機に、グローバル企業として更なる企業価値向上に努めてまいります。



品質問題の再発防止に向けて

当社航空機内装品製造における国土交通省航空局認定事業場の業務に関して発生した不適切な品質事案については、長らくご心配とご迷惑をお掛けしました。引き続き、再発防止に向けて、様々な施策に真摯に取り組んでおります。

再発防止策(具体例の一部)

(1) 教育管理体制の強化

- 2020年1月に新たに専属の教育訓練グループを新設し、教育訓練の責任と権限の明確化及び教育訓練に関する管理強化を図りました。
- 部門という垣根を超えて教育内容を再検討し、教育内容に重複がなく段階的に知識やスキルを確実に身に付けられる教育管理体制の構築に取り組んでおります。

(2) 技術本部の品質と能力向上への取組み

- 文書の署名・押印権限者等をまとめた管理表内容を周知徹底し、また、個々人のスキルや権限をまとめた一覧表を掲示することで、各人のスキル及び誰が署名・押印をする権限を有しているかをすぐに確認できる環境を整備しました。
- 設計スケジュールに新たに検図期間を2週間設け、担当を決めて検図を徹底することで品質向上に取り組んでおります。
- 外部の専門家や当社OBによる教育、委託先訪問及び社内教育内容の見直し等を実施し、個々人の能力向上に努めています。



会社概要

✈ 会社概要 (2020年9月末現在)

| | |
|--------|---|
| 商号 | 株式会社ジャムコ |
| 本店 | 東京都三鷹市大沢六丁目11番25号 |
| 本社 | 東京都立川市高松町一丁目100番地 |
| 設立年月日 | 1949年3月15日 |
| 創立年月日 | 1955年9月1日 |
| 主な事業内容 | 航空機内装品等製造関連 ギャレー、ラバトリー、ギャレー搭載用各種装備品等の製造 航空機シート等製造関連 航空機シート及びシートコンソール等の製造 航空機器等製造関連 熱交換器、航空機用炭素繊維構造部材、民間航空機エンジン部品等の製造 航空機整備等関連 航空機、装備品等の整備・改造 |
| 資本金 | 5,359,893千円 |
| 従業員数 | 連結：3,218名 個別：1,251名 |

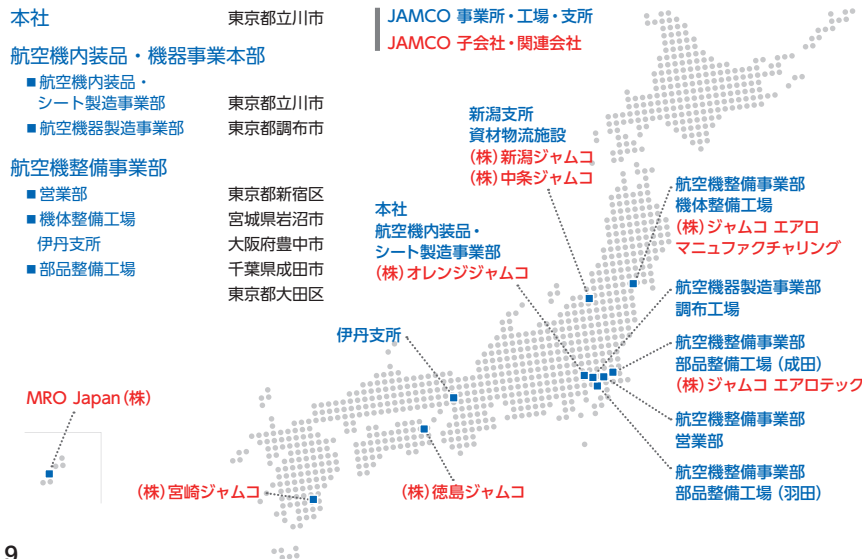
✈ 役員／執行役員 (2020年9月末現在)

| | | | |
|--------------|--------|--------|-------|
| 代表取締役社長 | 大喜多 治年 | 常務執行役員 | 加藤 正道 |
| 代表取締役副社長執行役員 | 米倉 隆 | 常務執行役員 | 市原 一義 |
| 取締役専務執行役員 | 木村 敏和 | 執行役員 | 内城 浩 |
| 取締役専務執行役員 | 田所 務 | 執行役員 | 脇 昭博 |
| 取締役常務執行役員 | 後藤 健太郎 | 執行役員 | 神山 行雄 |
| 取締役常務執行役員 | 粕谷 寿久 | 執行役員 | 大崎 直哉 |
| 社外取締役 | 藤川 寛 | 執行役員 | 小澤 恵治 |
| 社外取締役 | 野口 利彦 | 執行役員 | 桃園 健志 |
| 社外取締役* | 鈴木 伸一 | 執行役員 | 木本 幸浩 |
| 社外取締役* | 渡辺 樹一 | 執行役員 | 小出 三郎 |
| 常勤監査役 | 磯上 範好 | 執行役員 | 板倉 潮 |
| 常勤監査役 | 蕪木 昇 | | |
| 社外監査役* | 高橋 均 | | |
| 社外監査役* | 渡邊 浩一郎 | | |

*東京証券取引所の規定する独立役員です。

事業拠点 (2020年9月末現在)

✈ 事業所／子会社／関連会社一覧



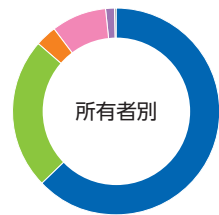
(*) JAMCO SINGAPORE PTE LTD. は、2021年1月をもって解散し、清算する予定です。

株式の状況 (2020年9月末現在)

株式数・株主数・上場取引所

| | |
|----------|-------------------------|
| 発行可能株式総数 | 80,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 26,863,974株 |
| 株主数 | 6,827名 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所市場第一部(証券コード7408) |

株式分布状況



| | |
|------------|----------|
| ■ その他の法人 | 16,871千株 |
| ■ 個人・その他 | 6,396千株 |
| ■ 外国法人等 | 873千株 |
| ■ 金融機関 | 2,342千株 |
| ■ 金融商品取引業者 | 340千株 |
| ■ 自己名義株式 | 38千株 |

株主メモ

| | |
|------------------------|---|
| 事業年度 | 4月1日～翌年3月31日 |
| 期末配当金受領株主確定日 | 3月31日 |
| 中間配当金受領株主確定日 | 9月30日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 公告の方法 | 電子公告により行う 公告掲載URL https://www.pronexus.co.jp/koukoku/7408/7408.html (但し、電子公告によることができない事故、その他の止むを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。) なお、計算書類及び連結計算書類に係る情報は、インターネット上の当社コーポレートサイト (https://www.jamco.co.jp/) においてご覧いただけます。 |

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできません。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店にお問い合わせください。

大株主 (上位10名)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|-----------------------------|---------|---------|
| 伊藤忠商事株式会社 | 8,956 | 33.38 |
| ANAホールディングス株式会社 | 5,373 | 20.03 |
| 昭和飛行機工業株式会社 | 2,003 | 7.46 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 462 | 1.72 |
| ジャムコ従業員持株会 | 422 | 1.57 |
| 三菱商事株式会社 | 221 | 0.82 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口5) | 208 | 0.77 |
| 株式会社みずほ銀行 | 200 | 0.74 |
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 200 | 0.74 |
| JP MORGAN CHASE BANK 385781 | 147 | 0.55 |

(注) 持株比率は、自己株式(38,932株)を控除して計算しております。



国内拠点のご紹介

航空機内装品・機器事業本部 ～技術本部～

東京都立川市には、本社と航空機内装品・機器事業本部があり、航空機内装品・機器事業本部の下には航空機内装品・シート製造事業部、航空機器製造事業部、営業本部及び技術本部等の数多くの部門が所在しております。

約1,000名の従業員が働いておりますが、その多数が技術本部に所属し、当社の主力製品であるギャレー、ラバトリー、及びシート等の設計並びに新素材の研究や軽量化といった技術革新等を担っており、「技術のジャムコ」の中核となる拠点です。以下、技術本部の紹介をします。



技術本部の業務内容を教えてください。

技術本部の最も重要な業務は、製品の設計です。ひとくちに製品の設計と言っても実際の業務範囲は、製品の試案から製造、修正、不具合の対応まで密接に関連しています。

具体的には、お客様の要望を営業部門から聞き、その要望をもとに技術的に対応可能かどうか、どれくらいの費用がかかるのかを検討します。その後、エアラインや機体メーカーとの打ち合わせを重ね、より詳細な設計図面を作成していきます。そして、その設計図面をもとに製造部門が試作品を製作し、その試作品をもとに更にエアラインや機体メーカーと協議し、最終的な設計図面を完成させます。その設計図面を元にして製品の製造を行います。当社製品を搭載した機体が運航を開始した後も、お客様の声をお聞きして、より良い製品にするための設計変更も行ったりします。このように、技術本部はものづくりの根幹となる部門です。



業務を行ううえで心掛けていること等があれば教えてください。

お客様の要望を的確に理解したうえで、実際の製品として設計し、作り上げていくためには、抽象的なアイデアから具体的に立体のものを設計する想像力と発想力が必要となります。また、上空3万フィートを飛行する機体にどのような圧力がかかり、どれくらい振動・歪みが発生するのかを理解し、そのような環境でも問題なく使用できる素材や構造についての正確な知識が必要であったり、緊急時に乗客が90秒以内に外へ脱出できるようにしなければならないといった検証も不可欠であったりします。

当社では、航空機の装備品メーカーとして、これまで積み上げてきた豊かな経験とさまざまな教育を通して、こうした想像力、発想力、幅広い知識等に基づく技術力の向上に励んでいます。自ら培った技術力を糧として、常に顧客満足、高品質、短納期、低コストを追求し、進歩し続けることを心掛けています。

今後の課題・目標を教えてください。

当社は「技術のジャムコ」として、各エアラインが独自に工夫する客室サービスの特別な要望に対して、きめ細やかな対応とイノベティブなアイデアを提案することによって、これまで高い評価を頂いてきましたが、これを如何に若い世代に継承していくかという課題も見えてきました。今後も、お客様の要望に応えられるように、技術力の向上と共に、常に業務の改善を図り、品質の高い設計を続けていきます。

株式会社 ジャムコ

〒190-0011 東京都立川市高松町一丁目100番地
TEL:042-503-9900 (代表)

※本資料に記載されております当社の計画や予測等は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に判断したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることがあります。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。
※本資料で使用している文章、写真等の無断での複製・転載を禁止します。



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。